

読者への注意

この本では、数式その他の番号づけとその参照に関しては次のようなやり方を用いている。

各偶数ページの上端に章の番号と名称を示し、奇数ページに節の番号と名称を示す。たとえば、奇数ページの初めに **3.8** とあれば、そのページの議論が第3章、第8節の内容であることを示す。さらに、各項目（定義、定理、例、注釈など）に番号がつけられ、それはページの左端に書かれる。これらの項目は各節ごとに1から順に番号づけされる。項目番号および本文中でのその参照番号はすべてイタリック体で書かれている。参照の仕方は、たとえば、“定義5.6.3により”というふうに書かれる。これは“第5章第6節の第3項目の定義により”という意味である。

同じ節内の項目を参照するときには、項目番号だけを書く。つまり、“7に代入すると”というのは“本節の式7に代入すると”という意味である。

目次

原著序文
日本版への序文
訳者まえがき
読者への注意

第1部 一般システム理論 1

- | | | | |
|---|----------------------------------|--------------------|---------|
| 1 | システム理論におけるシステム、かたまり、
および状態の概念 | I. A. ZADEH | 3~ 48 |
| | | 参考文献 | 48~ 49 |
| 2 | 有限状態システム | A. GILL | 51~ 98 |
| | | 参考文献 | 98~108 |
| 3 | 線形時間変化システムの状態空間による理論 | A. V. BALAKRISHNAN | 109~143 |
| | | 参考文献 | 144 |
| 4 | システムの問題の回路による解釈 | T. E. STERN | 145~196 |
| | | 参考文献 | 197 |

訳者あとがき
和文索引
欧文索引

システム理論II 「線形・非線形システム」

第2部 線形システム

- 5 線形モジュラ・システム A. GILL
- 6 線形定常システム E. POLAK
- 7 大次元の線形システム B. K. HARRISON

第3部 非線形システム

- 8 非線形関数方程式によって支配されるシステムの理論の概観
I. W. SANDBERG
- 9 安定性理論 A. M. LETOV

システム理論III 「確率・学習・最適システム」

第4部 確率論的システムと学習システム

- 10 確率論的有限状態システム理論 J. W. CARLYLE
- 11 学習システム理論 K. S. FU

第5部 最適システム

- 12 大スケールシステムの分解 P. P. VARAIYA
- 13 最適性条件 P. L. FALB and E. POLAK

第1部

一般システム理論